

(別紙)

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の基本的事項（平成30年度）

基金の名称	事業準備財産（配合飼料価格安定基金運営円滑化等事業）
法人名	公益社団法人配合飼料供給安定機構
基金額（機構補助金等相当額）	51,656百万円（51,656百万円）（平成30年4月1日現在）
基金事業の概要及び目標	国際的な穀物価格の上昇等により、平成19年以降、配合飼料価格が高騰する中、配合飼料価格安定制度の補填財源の一部である通常補填基金の財源の確保及び運営基盤の強化を図るため、通常補填基金の財源を造成し、配合飼料価格安定基金（全国基金）の通常補填基金の財源へ貸し付けることにより、制度を通じた畜産経営の安定化及び制度の基本的な機能を維持するための運営基盤の強化に資する。
基金事業を終了する時期	平成38年度
給付対象となる事務又は事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制	配合飼料価格安定基金運営円滑化等事業実施要綱、通常補填財源支援事業貸付金貸付規程及び通常補填財源強化事業貸付金貸付規程に基づき申請を受け付け、審査等を行う。

2. 見直し結果（平成30年度）

項目	講ずる措置		
実施した見直しの概要	今後も基準に適合するよう事業を実施		
基金事業実施時期	平成38年度まで		
収入・支出等 （平成29年度実績）	①期首残高	0百万円	
	②収入	補助金	0百万円
		合計	0百万円
	③支出	事業費	0百万円
		合計	0百万円
④期末残高（①+②-③）	0百万円		
交付決定等実績 （平成29年度実績）	貸付決定件数 0件 貸付決定額 0百万円		
基金の保有割合	算出した保有割合は1.0であった。算出に用いた方式及び数値については以下のとおりである。		
基金の保有割合の算出	<p>（算出に用いた方式）</p> $\text{保有割合} = \text{直近年度末基金額} \div (\text{貸付残高} + \text{貸付見込額} + \text{回収見込額} + \text{管理費})$ $= 51,656\text{百万円} \div (51,656\text{百万円} + 0\text{百万円} + 0\text{百万円} + 0\text{百万円})$ <p>（算出に用いた数値）</p> <p>直近年度末（平成29年度末）基金額：51,656百万円（基金額+貸付残高）</p> <p>貸付残高：平成29年度末の貸付残高 51,656百万円</p> <p>事業が完了するまでに必要な事業費及び管理費：0百万円</p>		
使用見込みの低い基金等	使用見込みの低い基金等の該当の有無	有	

<p>の取扱いの検討結果</p>	<p>基準6の(1)の①に該当 ※事業を終了した基金（後年度負担のみ（基金終了予定年度：平成38年度） (使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果)</p> <p>—</p>
<p>その他</p>	<p>—</p>